

親子自然体験教室「カニの樂園?!でカニ釣り大作戦」 実施報告

実施日時：2026年5月30日(土) 13:00—16:00

場 所：広島県広島市佐伯区 八幡川河口

講 師：菊間 馨 氏（広島県自然体験活動アドバイザー）

参加者：11家族26名（大人：13名、子供：13名）

天 候：晴れ

内 容：カニ釣り体験、ゲーム「アシハラガニの試練」

概 要： 淡水と海水が混じる河口付近では、様々なカニが暮らしています。中でもヨシ原は外敵から身を守る安全地帯。持参したエサでカニ釣り体験をしたり、すみかであるヨシ原に溜まったをゴミ拾ったりして、何を食べてどんなカニが暮らしているのかを学びました。

また、子どもたちがカニになって、卵から稚ガニになって藻場で過ごし、天敵から逃げながらヨシ原に戻ってくるまでをゲームを通して体験してもらいました。

【実施風景】



オリエンテーション・つり竿作り

初めての場所・初対面の人ばかりなので、ヨシ原はどんな場所か、スケジュール、持ち帰ってほしいことなどを共有し、チームに分かれて「共通点探し」を行いました。

そして、カニ釣りに向けて、ヨシとタコ糸を使って竿作りをしました。



つり場へ移動

自分が作った竿を持ってつり場へ移動。竿を持った集団…行き交う人の視線を感じました(笑)

橋の上から一帯に広がるヨシ原とカニがたくさん見えました。



いざ、カニ釣り！

釣り場に着いたら、各自予想して持ってきてもらった「カニが食べそうなもの」を先に付け、釣り開始です。



釣れたー！

釣れない子は場所を代わったり、菊間さんのアドバイスを受けてたりして、全員が釣り上げることができました。

釣れたカニはアシハラガニやクロベンケイガニ。使ったエサは、さきいか、カニカマ、キャベツ、ワカメ、木の枝などで、雑食性であることがわかりました。



参加者全員・30分での釣果はなんと248匹！！コツをつかんだ終盤、皆もくもくと釣っていました。

大人がゴミ拾いしている間、子どもたちは釣ったカニを逃がしに行きました。



釣りの後は、カニの一生を体験

生まれたばかりの赤ちゃんアシハラガニは海を漂って藻場で大きくなり、またヨシ原に戻ってくることを話し、子どもたちはカニ、親は天敵役になってゲームをしました。ヨシ原に戻ってきた人は1回戦目は6人、2回戦目は0人！約5万個の卵のうち、大人になれるカニはごくわずかであることを体験してもらいました。

街中の限られた環境でもたくましく生きるカニの暮らしを垣間見てもらえたかなと思います。皆さん、お疲れさまでした！